

令和元年度
こころ医療福祉専門学校壱岐校
学校自己評価結果報告書

令和2年4月1日

文部科学省・専修学校における学校評価ガイドライン
(平成25年) 準拠

1. 学校の教育目標 令和元年度

○ビジョン

地域の医療・福祉を包括的に支援できる組織になる

○ビジョンの実現に向けたテーマ

地域社会から必要とされる組織であり続ける
地域社会から必要とされる人材を提供する

1 学校経営スローガン「傍らに人あり」の精神を大切にする心豊かな介護人材の育成

2 重点教育目標

- (1) 国家試験合格率向上及び進路実現100%の達成
- (2) 授業の質と量の向上を図る
- (3) 留学生の安全・安心100%の達成
- (4) 報告・連絡・相談体制の推進
- (5) 効率的な学生募集の実施

3 具体的な対策

- (1) 授業・模擬試験及び施設実習の充実
- (2) 担任・学科主任による進路面談の実施
- (3) 就職合同面談会の実施
- (4) 学生相談窓口の周知・開放
- (5) ガイダンス・オープンキャンパス・広報の充実

4 地域社会との関係

- (1) 地域の公民館との連携
- (2) ボランティア活動への積極的参加を図る

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

(1) 介護福祉士国家試験合格率向上に努める

(2) 進路実現100%の達成

(3) 授業の質と量の向上を図る

(4) 留学生の安全・安心100%の達成

(5) 報告・連絡・相談体制の推進

(6) ガイダンス・オープンキャンパス・広報の充実

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1				
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。 (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1	学校の理念は、学生便覧等にも揭示され明確である。「等しく可能性を信じ」、「専門分野の深い知識」のみならず、「誠実、気力、知恵と行動力」を育むことで「社会に貢献」する姿勢は専門学校の理念として相応しく、専門職としての人格と知識・技能を備えた信頼される社会人を輩出することで社会に貢献することが目的である。 【教職員アンケート 質問1 3.71】
・学校における職業教育の特色は何か。	4	3	2	1	専門的な経験を積んだ専任教員を中心に、各業界との連携を重視し、理論と実践のバランスがとれた教育を実施している。また、実習においては各連携施設との緊密な連携のもと、専門職としての職業倫理の涵養、実践的な技術の習得に特に力を入れている。 【教職員アンケート 質問2 3.00】
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	4	3	2	1	学校関係者評価委員会、実習先各施設をはじめとした各方面からの意見、要望を取り入れ、社会のニーズに直結した将来を見通した学校経営に努めている。 【教職員アンケート 質問3 3.29】
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか。	4	3	2	1	オープンキャンパス等の入学前ガイダンスを通じて、また、入学後も保護者説明会、オリエンテーションを通じて繰り返し周知を図っている。学校と学生・保護者が理念・目的・育成人材像を共有することで、円滑な学校運営に繋げている。 【教職員アンケート 質問4 3.00】 【学生アンケート 質問1 3.49】 平均:3.25
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	4	3	2	1	関連業界との情報交換を積極的に行い、将来的な業界のニーズに対する理解が深まっている。常に業界の動向に対する情報収集を行い、それに応じた教育目標・育成人材像を掲げている。 【教職員アンケート 質問5 3.14】

①課題

保護者はじめ地域社会に本校の教育目標、役割、育成を目指す職業観などの更なる周知徹底をどのように図るのが課題である。

②今後の改善方策

学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会の活用、および年数回のガイダンス、オープンキャンパスにおいて詳細かつ丁寧な説明に努める。

③特記事項

なし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(2) 学校運営

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1				
・目的等に沿った運営方針が策定されているか。	4	3	2	1	地域の医療・福祉を包括的に支援できる教育機関として成長するという岩永学園グループの目的を実現するため、グループ内の社会福祉施設はもちろん、地域の福祉施設との連携を強化し、より実践的な教育を目指した運営方針が策定されている。 【教職員アンケート 質問6 3.29】
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	4	3	2	1	事業計画は、地域の医療・福祉を包括的に支援できる組織になるという学校の運営方針に沿って、毎年度初めに具体的な事業計画を示している。 【教職員アンケート 質問7 3.43】
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。	4	3	2	1	運営組織や意思決定機能は明確化されており、有効に機能している。 【教職員アンケート 質問8 3.14】
・人事、給与に関する規定等は整備されているか。	4	3	2	1	就業規則により明確に定められている。 【教職員アンケート 質問9 3.29】
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	4	3	2	1	教務担当と財務担当を総務部が兼務している。意思決定システムは整備されており、適切に運用されている。 【教職員アンケート 質問10 2.86】
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	4	3	2	1	地域自治会への積極的参加、学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会をはじめとした様々な取り組み等を通じて、業界や地域社会へのコンプライアンス体制が整備されている。 【教職員アンケート 質問11 2.71】
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	4	3	2	1	教育課程編成委員会、学校ホームページや学生募集活動におけるガイダンスやオープンキャンパスなどを通じて、教育活動等に関する情報を公開している。また、個別の問い合わせに関して適宜対応している。 【教職員アンケート 質問12 2.86】
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	4	3	2	1	業務効率化のため学校内情報システムの整備をすすめている。 【教職員アンケート 質問13 2.71】

①課題

情報を適切に公開しているが、より積極的な情報の発信が必要である。

②今後の改善方策

教育活動等について、ガイダンス、マスメディア等を通じて直接情報を発信する。

③特記事項

なし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(3) 教育活動

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1				
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	4	3	2	1	本校の教育理念に基づき、学校関係者委員会・教育課程編成委員会等・関連業界と緊密に連携しながら実践的な職業教育を意識した教育課程編成・実施方針の策定を行っている。 【教職員アンケート 質問14 3.43】
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	4	3	2	1	養成施設指定規則に基づき修業年限や学習時間、目標とする到達レベルが明確にされている。 【教職員アンケート 質問15 3.43】
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4	3	2	1	養成施設指定規則に基づき体系的なカリキュラム編成を行っている。 【教職員アンケート 質問16 3.57】
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	4	3	2	1	関連業界との情報交換・教育課程編成委員会の意見をもとに、より実践的な教育方法の工夫・開発に努めている。また、施設実習においては施設担当者と緊密に連携をとることで実践的な技術の習得を支援できる体制を構築している。 【教職員アンケート 質問17 3.14】
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか。	4	3	2	1	介護実習をとおして、教職員・受入施設担当者の緊密な連携のもと、実践的な職業教育がなされている。 【教職員アンケート 質問18 3.14】
・授業評価の実施・評価体制はあるか。	4	3	2	1	すべてのクラスで授業評価アンケートを実施し、アンケート結果を集計し、各教員で供覧し授業改善の評価材料としている。 【教職員アンケート 質問19 3.43】
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。	4	3	2	1	教育課程編成委員会を年2回、学校関係者評価委員会を年1回実施し、委員からの評価を受けている。 【教職員アンケート 質問20 3.29】
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	4	3	2	1	学則および各種規定に基づき、成績評価、単位認定、進級判定、卒業判定の基準は明確にされている。 【教職員アンケート 質問21 3.71】
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4	3	2	1	養成施設指定規則に基づき、資格取得に関する指導体制、カリキュラムなどが体系的に位置づけられている。 【教職員アンケート 質問22 3.29】
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	4	3	2	1	国家資格の養成施設指定規則に則り、適切な資格要件を持つ、実践力のある教員を確保している。 【教職員アンケート 質問23 3.86】
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか。	4	3	2	1	教員は実務経験を活かして関連業界との連携を深め、情報交換を密にすることで各自の知識と技術の維持・研鑽に努めている。また、実習指導およびそれに先がけた研修を通じて、実習施設の指導担当者との教育方針の統一・知識の共有を行っている。 【教職員アンケート 質問24 3.14】
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。	4	3	2	1	自主的な教材研究を奨励し、自己研鑽に努めている。また、全教職員に対して、全般的な指導力向上のための研修を行っている。 【教職員アンケート 質問25 2.86】
・職員の能力開発のための研修等が行われているか。	4	3	2	1	1月、3月、8月の年3回、全職員による教職員研修会に参加。その他、必要に応じて教職員を選び、適宜、外部の研修に参加させている。 【教職員アンケート 質問26 2.86】

①課題

国家試験に向けた学生の動機付けに課題が残る。国家試験合格・実践的な技術を身に付けた人材の育成に向けて、授業の充実はもとより教職員と学生の意識の統一が必要である。

②今後の改善方策

入学前の進学ガイダンス・オープンキャンパスの時点から国家試験合格・実践的な技術習得の必要性の周知を図り、統一された目的に向かって努力できる環境づくりを行うとともに、教育の質と量の向上に努める。

③特記事項

なし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(4) 学修成果

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1				
・就職率の向上が図られているか。	4	3	2	1	学校主催で市内各施設との合同就職面談会を実施する等、学生の就職活動を積極的に支援し、令和元年度卒業生は全員が希望した施設に就職することができた。 【教職員アンケート 質問27 3.57】 【学生アンケート 質問2 3.49】 平均3.53
・資格取得率の向上が図られているか。	4	3	2	1	定期的な模擬試験及び国家試験対策授業を実施し、着実に模擬試験の成績を向上させることができた。 【教職員アンケート 質問28 3.29】 【学生アンケート 質問3 3.35】 平均:3.32
・退学率の低減が図られているか。	4	3	2	1	学生の心配事や問題点に早期に対応し、教員をはじめ学校全体でサポートすることを常に心がけており、令和元年度は退学者が出なかった。 【教職員アンケート 質問29 3.14】 【学生アンケート 質問29 3.35】 平均:3.25
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4	3	2	1	在校生との情報共有を密にし、社会的な活躍について常に把握するよう心がけている。卒業後の動向について情報共有ができる環境を構築するとともに、在校生に情報提供を行い、学習意欲の向上につなげる取り組みを行っている。 【教職員アンケート 質問30 3.29】 【学生アンケート 質問5 3.30】 平均:3.30
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	3	2	1	卒業生の活動状況を随時聞き取り、教育活動の改善に取り入れられるよう努めている。 【教職員アンケート 質問31 2.57】 【学生アンケート 質問6 3.30】 平均2.94

①課題

留学生に対する関連分野の専門用語の指導は徐々に効果を発揮しつつある。今後国家試験合格に向けて教材の研究・授業方法の検討を重ねる必要がある。

②今後の改善方策

授業の内容、指導方法など、互いに研鑽を積み、質と量の向上を図る。また、留学生に対する日本語の補充授業を充実させ、授業に対する理解度を高めるとともに、全学生に対して実践的な技術の習得を積極的に支援し、高い技術をもって就職に繋げる。

③特記事項

なし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(5) 学生支援

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1				
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	3	2	1	関係業界に呼びかけ校内で就職説明会を開くなど、在校生の就職活動を支援している。就職後も各種の相談に対応し、安心して業務に従事できるよう支援している。 【教職員アンケート 質問32 3.29】 【学生アンケート 質問7 3.59】 平均:3.44
・学生相談に関する体制は整備されているか。	4	3	2	1	クラス担任を通じた相談をはじめ、全員が相談窓口の機能を果たせるように努めている。また、日頃から学生の変化に目を配り、相談を待つだけでなく、職員側から働きかけることで問題の早期発見・解決につなげている。 【教職員アンケート 質問33 3.29】 【学生アンケート 質問8 3.43】 平均:3.36
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	4	3	2	1	学校独自の授業料等の減免制度に加え、各種奨学金申請及び採用にかかわる手続きの支援を積極的に行い、並行して経済状況に応じた校納金分納の相談にも応じている。 【教職員アンケート 質問34 3.57】 【学生アンケート 質問9 3.51】 平均:3.54
・学生の健康管理を担う体制はあるか。	4	3	2	1	定期的な健康診断はもちろん、担任を中心とした衛生管理、安全・衛生指導を通じて、学生の健康管理の指導を徹底している。また、医師に病状を伝えることが困難な留学生については受診に付添い、適切な治療を受けられるよう援助している。 【教職員アンケート 質問35 3.43】 【学生アンケート 質問10 3.51】 平均:3.54
・課外活動に対する支援体制は整備されているか。	4	3	2	1	ボランティア活動やイベントの情報提供を積極的に行い、学生の参加を支援している。必要に応じて職員が引率し、率先して活動に参加している。 【教職員アンケート 質問36 2.71】 【学生アンケート 質問11 3.32】 平均:3.02
・学生の生活環境への支援は行われているか。	4	3	2	1	学校内に学生寮を設置し、留学生および島外出身者の修学を支援する体制をとっている。また、学生の要望を聞き取り、可能な限り環境整備を行っている。 【教職員アンケート 質問37 3.14】 【学生アンケート 質問12 3.46】 平均:3.30
・保護者と適切に連携しているか。	4	3	2	1	入学前からの面談、入学後の保護者説明会、成績状況に応じた適宜の保護者面談等を通じて、保護者との連携を重視している。電話相談等を常時受け付け、質問や相談に適切に対応している。 【教職員アンケート 質問38 3.14】 【学生アンケート 質問13 3.41】 平均:3.28
・卒業生への支援体制はあるか。	4	3	2	1	卒業生の介護福祉士登録、国家試験申し込み手続き、その他の相談に常時対応している。 【教職員アンケート 質問39 3.14】 【学生アンケート 質問14 3.38】 平均:3.26
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	4	3	2	1	授業時間を午前11時から午後4時30分とし、午前中と夕方以降の就業を可能にした。 【教職員アンケート 質問40 3.29】 【学生アンケート 質問15 3.49】 平均:3.39
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	4	3	2	1	キャリア教育の視点で高校でのガイダンス授業に積極的に参加し、学校紹介だけでなくとどまらず、職務理解を目的とした体験授業を行っている。 【教職員アンケート 質問41 3.29】

①課題

卒業生への情報提供を電話で行っているが、勤務の関係上、連絡が付きにくい。卒業後の連絡手段について更なる検討が必要である。また、保護者からの相談対応について、相談窓口を保護者に対して明示する必要がある。

②今後の改善方策

卒業後の連絡手段について、本人と卒業前に打ち合わせを行い、確実に連絡が取れる体制を整える。入学時の保護者説明会の際、相談窓口について周知するとともに、学生に対しても、保護者との情報共有を図るよう指導を徹底する。

③特記事項

学生への経済的支援は、県・市・連携施設との相互連携により、十分な体制を構築している。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(6) 教育環境

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1				
・施設・設備は, 教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。	4	3	2	1	施設基準は満たしており, なおかつ教室および共有区域などはスペースを確保している。必要に応じて備品の補充・更新を行っている。 また, 施設・設備に関して学生からの要望を聞き取り, 可能な限り対応している。 【教職員アンケート 質問42 2.86】 【学生アンケート 質問16 3.14】 平均:3.00
・学内外の実習施設, インターンシップ, 海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。	4	3	2	1	学外の実習施設は十分に確保しており, 実習受入施設担当者と緊密に連携を取り, 緊密な連携のもと指導を行う体制が構築されている。 【教職員アンケート 質問43 3.00】 【学生アンケート 質問17 3.49】 平均:3.25
・防災に対する体制は整備されているか。	4	3	2	1	防災訓練は最低年1回は全校で実施している。各設備の防災責任者が定められている。毎年度, 防災組織の指示系統が更新されている。 【教職員アンケート 質問44 3.29】 【学生アンケート 質問18 3.51】 平均:3.40

①課題

消防職員の意見を参考に地震に伴う津波警報が発令された場合の避難場所を決定し, 周知を行ったが, 避難訓練は火災避難訓練のみを実施した。避難経路を含めた津波発生時の避難方法について改めて学生への周知を徹底する必要がある。

②今後の改善方策

年度当初の避難訓練だけでなく, 定期的に防災に関する情報提供・教育を行う。
実習施設は十分確保しているが, 地域貢献の一環としても実習指導者講習会をはじめとした指導者の養成に力を入れる。地域の各施設と情報交換を密にするとともに, 関連業界と連携を取り, 協調して実習指導者等の人材育成を進める。

③特記事項

防災訓練(地震・津波避難訓練含む)および, 年2回の消防点検を実施することにより, 防災意識の昂揚に努めている。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1					
・学生募集活動は、適正に行われているか。	4	③	2	1	高校新卒者の募集にあたって、入学試験を10月以降に実施しているが、出願については県の専修学校各種学校連合会での取り決めに沿う必要がある。その他、学生募集は適正に行われている。 【教職員アンケート 質問45 3.43】	
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4	④	3	2	1	学生募集活動において、卒業生の就職率、資格試験の合格率、介護実習の成果など、正確に伝えている。 【教職員アンケート 質問46 3.43】
・学納金は妥当なものとなっているか。	4	④	3	2	1	本校の学納金は、同分野の他の学校の平均的な水準と同等である。 【教職員アンケート 質問47 3.57】 【学生アンケート 質問19 3.49】 平均:3.53

①課題

定期的に市内の高等学校での進学ガイダンスに出席し、広報活動を行っているが、社会人に対して本校の情報をいかに伝えるかが課題である。

②今後の改善方策

高等学校等との連携を深め、在校生の成績状況や就職先情報など高専接続にふさわしい情報を伝えるとともに、専門分野に興味を持っていない学生に対しては、興味を持つきっかけとなるような学校の魅力を簡潔に提示する。
社会人の募集に関しては従来の広報活動に加え、回覧板・ケーブルテレビ等、地域生活に密着した媒体の活用を検討する。

③特記事項

学校関係者評価委員会の委員の意見を尊重した広報活動に注力したい。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(8) 財務

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1				
・中期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4	3	2	1	少子高齢化の中、入学者数の確保のため学科等の教育内容の刷新を行うとともに、経費の圧縮等で財務基盤の安定化を図っている。 【教職員アンケート 質問48 3.14】
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4	3	2	1	予算作成に際して、理事長査定を実施し、適切な予算管理を行っている。 【教職員アンケート 質問49 3.29】
・財務について会計監査が適性に行われているか。	4	3	2	1	適時、内部監査を実施している。 【教職員アンケート 質問50 3.29】
・財務情報公開の体制整備はできているか。	4	3	2	1	財務情報はホームページ上で公開している。 【教職員アンケート 質問51 3.29】

①課題

少子高齢化の進展は離島地域において特に顕著である。このような状況の中、地元に残る高校生の大切な進路先になるよう努め、安定した授業料収入に繋げる必要がある。留学生が学生数の過半数を占める状況を鑑み、長期的なマネープランの立案および適切な校納金の納付を支援する必要がある。

②今後の改善方策

留学生に対しては校納金について明確に提示し、適切なマネープランを立てられるよう、複数のモデルケースを提示する。また、すべての入学希望者に対して各種学費支援制度の情報提供を行うことで修学に対する不安を軽減し、入学者の確保につなげる。

③特記事項

なし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1				
・法令, 専修学校設置基準等の遵守と適性な運営がなされているか。	4	3	2	1	学校教育法, 養成施設指定規則等の法令に従った適性な運営がなされており, 申請書, 届出書, 学校運営に係る記録等は確実に保管されている。 【教職員アンケート 質問52 3.43】
・個人情報に関し, その保護のための対策がとられているか。	4	3	2	1	学生個人調書等の個人記録は施錠できるキャビネットに保管して部外者のアクセスを防止すると共に, 情報の持ち出しを禁じている。全職員を通じて, 個人情報管理意識の向上に努めている。 【教職員アンケート 質問53 3.43】
・自己評価の実施と問題点の改善を図っているか。	4	3	2	1	学校自己評価委員会の下, 各項目に対して, 自己評価を実施し, 各部局, 学科でそれぞれの問題点は具体的に把握し, 点検と改善を推進している。 【教職員アンケート 質問54 3.29】
・自己評価結果を公開しているか。	4	3	2	1	自己評価結果は学校ホームページ上で公開している。 【教職員アンケート 質問55 3.29】

①課題

自己評価の結果を次年度の学校運営に十分に活用できる体制の構築が必要である。

②今後の改善方策

自己評価の結果を教職員間で共有するとともに, 各職員が問題意識をもって業務に臨み, 改善策を常に模索する。
また, 学生に対しても学校評価アンケートのフィードバックとして改善点を周知し, 学校運営に参加しているという意識を共有する。

③特記事項

なし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1	
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4 3 2 1	学生の地域ボランティア活動や、学校設備の地域自治会への利用、災害予防のための一時避難場所等の提供を行っている。 また、地域の介護事業所職員向けに国家試験対策講座、実習指導者講習会等を実施し、人材育成を行っている。 【教職員アンケート 質問56 3.29】
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4 3 2 1	ボランティア募集情報を全学生にも周知し、地域ボランティア依頼の受入れ、実施のシステムを構築している。学校を通じたボランティア募集による活動は、必要に応じて教員も引率を行い、把握している。 【教職員アンケート 質問57 3.43】 【学生アンケート 質問20 3.49】 平均:3.46
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか。	4 3 2 1	佐世保高等技術専門校から介護福祉士養成科の委託訓練を受託し、受講者の教育を積極的に実施している。 【教職員アンケート 質問58 3.43】

①課題

現在実施しているボランティア活動および地域貢献活動については、『継続は力なり』の原則のもと、今後も継続して実施することが不可欠であるが、授業時数確保の観点から課題が残る。
限られた時間内でいかに地域に貢献できるか、活動の見直しと改善が必要である。

②今後の改善方策

地域に現に必要とされているものを常に模索し、それに即したボランティア活動を計画・実施する。
また、学生の意見を取り入れる機会を増やし、自発的な活動を援助することで学生自身が主体的に地域に貢献できる環境づくりを進めていく。

③特記事項

介護職とボランティア精神は連動していることを意識させる必要がある。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(11) 国際交流

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1				
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか。	4	3	2	1	留学生の受入れをグループ内の連携をもって積極的に行っている。 【教職員アンケート 質問59 2.71】
・留学生の受入れ・派遣, 在籍管理等において適切な手続き等がとられているか。	4	3	2	1	外国人留学生の受入れに関し, 専門の職員を配し, 日々の記録を整備し, 適切な在籍管理を行っている。 【教職員アンケート 質問60 3.57】
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか。	4	3	2	1	留学生担当の職員を配し, 日本語の補習授業・生活指導を行うほか, 全校をあげての組織的な取り組みを行っている。 【教職員アンケート 質問61 3.14】
・学習成果が国内外で評価される取組を取っているか。	4	3	2	1	国際的な取組は, そこまで至っていない。 【教職員アンケート 質問62 2.71】 【学生アンケート 質問21 3.24】 平均 2.98

①課題

留学生の日本語能力の格差のほか, 国による生活習慣や基本的考え方の違いが大きく, 日本人学生と同じ授業を受けさせる困難さの克服, 日本人学生・留学生双方の学習意欲の維持と向上が課題である。

②今後の改善方策

学習意欲向上を目的として日本語の補充授業の更なる充実を図り, 専門用語に関する指導を行うことで, 日本語で行われる専門分野の授業に対する困難さの軽減を図る。

③特記事項

なし

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

令和元年度

令和元年度の総括

(1) 介護福祉士国家試験合格率(日本学生)100%の達成

国家試験対策・模擬試験に計画的に実施し、資格取得に対する意識付けを行った。早い段階から目的意識をもって自発的に学習に取り組んだ学生は模擬試験の結果が着実に向上し、国家試験自己採点結果も良好であった。日本人6名中5名が合格。留学生の国家試験合格は困難なものがあるが、専門用語に関する補充授業を重点的に実施し、合格者を輩出できるよう次年度に向けて取り組みたい。また、実践的な技術の獲得を支援している。

(2) 進路実現100%の達成

留学生に対しては希望する条件の聞き取りを行ったうえで、応募先の選定・先方との連絡調整を援助することで、円滑に就職活動ができるよう支援した。また、市内就職を希望する学生を対象に就職合同面談会を開催し、様々な施設について理解した上で進路を実現できる体制を構築した。その結果全員が希望する進路を実現することができた。

(3) 授業の質と量の向上を図る

先輩教員の助言を受けながら授業研究を推進し、不足する部分を補完する体制を構築しており、今年度は授業力の向上をテーマに校内研修を実施した。また、各教科の情報共有を綿密に行い、効果的な国家試験対策について研究を重ねている。担任・学科長を中心に複数回個人面談を実施し、各学生の要望や課題、学修状況を把握し、適切な働きかけを行うことでそれぞれの苦手とする部分を補完し、授業への理解度・意欲を高めている。

(4) 留学生の安全・安心100%の達成

在留資格の適切な管理を行うとともに、担任・留学生担当職員を中心として各種の相談に対応し、安心して生活できる環境づくりを行っている。日本の税制度・年金制度に関する指導を徹底し、法令順守の意識を高めたり、病院受診や各種手続きの際に職員が同伴して指導し、卒業後も社会生活を円滑に営めるよう支援している。また、健康増進に関する指導を担当を中心に実践した。

(5) 報告・連絡・相談体制の推進

職員朝会・職員会議を中心に教職員間の情報を共有し、意思統一を図ったうえで学校運営に取り組んでいる。また、学生からの相談内容等については担任を中心に細心の注意を払って取り扱い、個人情報の保護に努めている。

(6) ガイダンス・オープンキャンパス・広報の充実

高校での進学ガイダンスに積極的に教職員を派遣し、正確な情報の伝達と広報活動に力を入れている。オープンキャンパスにおいては、入学希望者が本校の学生の意見を直接聞く機会を設け、入学に対する不安の解消に努めている。

1. 学校の教育目標 令和2年度

- 1 ビジョン
地域の医療・福祉を包括的に支援できる組織になる
- 2 ビジョンの実現に向けたテーマ
地域社会から必要とされる組織であり続ける
地域社会から必要とされる人材を提供する
- 3 学校経営スローガン 「傍らに人あり」の精神を大切にする介護人材の育成
- 4 重点教育目標
 - (1) 授業内容の質の向上に努める
 - (2) 介護福祉士国家試験合格率の向上および進路実現100%の達成
 - (3) 効率的な学生募集に努める(日本学生6, 留学生15)
 - (4) 留学生の安全安心100%に努める
 - (5) 凡事徹底に努め, 組織として動く
- 5 具体的な対策
 - (1) 研究授業の実施および施設実習の充実
 - (2) 模擬試験, 補講, じょこ学習時間の十分な確保
担任, 学科主任による個別面談
就職合同面談会の実施
 - (3) ガイダンス, オープンキャンパスなど広報内容の充実
 - (4) 留学生を含めた学生の相談窓口の周知
 - (5) 職員の報告, 連絡, 相談体制の推進
- 6 地域社会との関係
 - (1) 地域の公民館との連携
 - (2) ボランティア活動(他団体との連携)への積極的参加を図る

2. 令和2年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1) 授業内容の質の向上に努める
先輩教師に学ぶことを基本に、年3回研究授業を実施し、自己研鑽に努め、学生の介護福祉士国家試験合格に繋げる。
- (2) 介護福祉士国家試験合格率向上および進路実現100%の達成
 - ①入学試験および入学時オリエンテーションにおいて国家試験の位置づけなど合格に向けた明確な意識付けを行う。
 - ②充実した授業をもとに、模擬試験10回、補講および放課後の自己学習30回程度の量の確保を行う。
 - ③本校独自の就職合同面談会を実施する。(7~9施設の参加を目指す)
 - ④担任・学科長との進路に関する面談を十分に行う。
- (3) 効率的な学生募集に努める(日本学生6, 留学生15)
 - ①高校のガイダンスについては積極的に職員を派遣し、広報に努める
 - ②オープンキャンパスにおいて丁寧な説明を行う。
- (4) 留学生の安全安心100%に努める
担任を中心とした面談を適宜実施するとともに、日常生活、悩み、疾病対応等に関する相談窓口の周知を図る。
- (5) 凡事徹底に努め、組織として動く
 - ①全体、学生に関わること、まずは報告する体制を徹底する。
 - ②問題を一人で抱え込まず相談できる意識付けを行う。
 - ③業務全般に関し、凡事徹底を意識付ける。